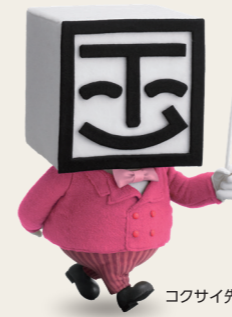


出費の予定が、いろいろ続く

40・50代からの生活設計を考えたら、

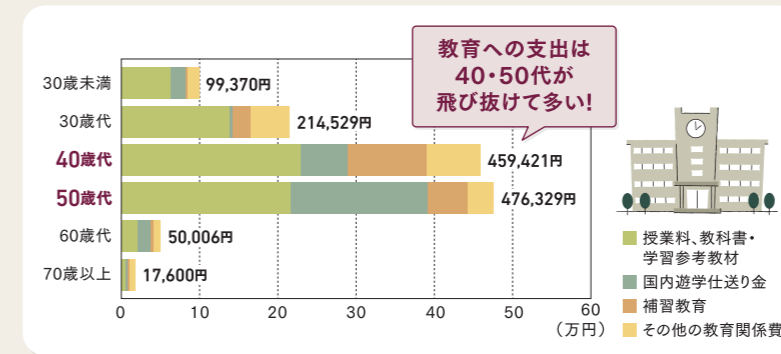


その日のために

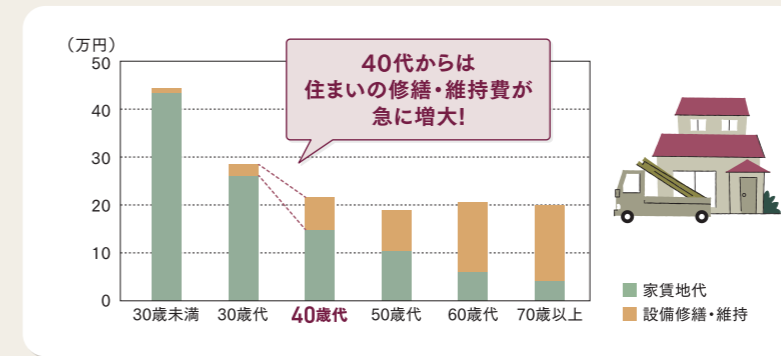
このさい国債。

人生の折り返し地点で待ちかまえるいくつかのライフイベントに、しっかりしたお金の準備を。「個人向け国債」が、力になります。

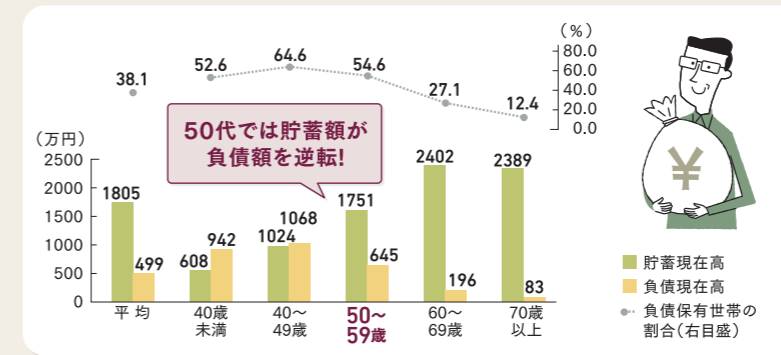
■ 世帯主の年齢階級別1世帯当たり年間の教育関係費(二人以上の世帯) (平成27年)



■ 世帯主の年齢階級別1世帯当たり年間の住居費(二人以上の世帯) (平成27年)



■ 世帯主の年齢階級別貯蓄・負債現在高、負債保有世帯の割合(二人以上の世帯) (平成27年)



「何年後にいくら必要か」が見えてくる。それが、40・50代。子どもの進学や留学のためのお金の準備。住宅ローンの繰り上げ返済やリフォームのための費用。退職後の起業やゆとりある暮らしのための資金計画。そして、将来、必要になるかもしれない親の介護費用や、子どもへの資産の継承。これからのライフイベントがはつきりと見えてくる。40・50代は、その日に備えたマネー

プランにもしっかりと向き合いたいものです。大切なのは、「何年後にいくら必要か」をきちんと見極め、そのタイミングに合わせた資産運用を、無理なく着実に実践することです。加えて、50代からは、家計の負債が減って貯蓄が増えていく世代。増えた貯蓄は、計画性を持って安全かつ有意義に活用したいものです。これらのニーズに「個人向け国債」なら、元本割れがなく、最低金利も

保証されているので、安心・確実。しかも、満期が3種類なので、予定される人生の「節目」のイベントに合わせて選べます。たとえば、3年後の子どもの大学進学に備えて「固定3年」、5~6年後のリフォームのために「固定5年」、退職後の資金のために「変動10年」といった商品選びが可能。また、「変動10年」なら、今後の市場金利の変動に伴って金利が上昇する可能性が期待できます。

毎月発行 /
変動10
固定5
固定3

個人向け国債は、満期が3年・5年・10年の3コース! 個人向け国債は、半年毎に利率が変わる変動金利型の「変動10年」と、発行時の利率が満期まで変わらない固定金利型の「固定5年」「固定3年」の3タイプが、毎月発行されています。

元本割れがないので、安全・安心!

満期時の元本のお返しも、半年毎の利子の支払いも、国が責任を持って行います。また、経済環境等により実勢金利が変動しても、元本部分の価格は変動しないので、安全・安心です。



お金のあるときに、月々1万円からOK!

個人向け国債の購入は、簡単・お手軽。月々1万円から、証券会社や銀行などの金融機関に口座を開いて申し込むだけで購入できます。また、個人間での譲渡や相続も可能。詳しくは、お近くの金融機関にお尋ねください。



きっちり、0.05%(年率)の最低金利保証! 3コースとも、経済環境等により実勢金利が下落した場合においても、年率0.05%の最低金利を保証します。

0.05% (年率)

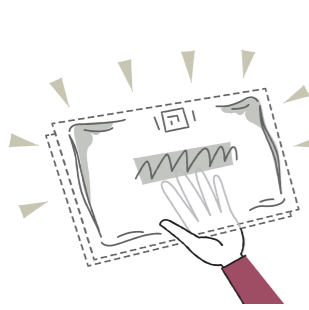
もしものときも、中途換金は1万円から! 予定外の出来事で、お金が少し必要になったときも、個人向け国債なら安心。すべての商品で、発行後1年を経過した時点から、額面1万円単位での中途換金が可能です。

※直前2回分の各利子(税引前)相当額×0.79685が差し引かれます。



ペーパーレスで、盗難・紛失の心配なし!

個人向け国債は、券面が発行されないペーパーレス。だから、証券が盗難にあったり、紛失してしまう心配がありません。



今後の発行スケジュール(平成29年5月現在)

	変動10	固定5	固定3	募集期間	発行日
6月募集債	第87回債	第75回債	第85回債	平成29年6月5日~30日	平成29年7月18日
7月募集債	第88回債	第76回債	第86回債	平成29年7月6日~31日	平成29年8月15日

わかりやすいパンフレットもご用意しています。



※ご購入の際には、購入代金、印鑑、本人確認書類(免許証など)、マイナンバーが記載されている書類などが必要です。※国債の利子は、受取時に20.315%分の税金が差し引かれます。ただし「障害者などの非課税貯蓄制度(いわゆるマル優、特別マル優)」の適用を受け、非課税とすることができます。この制度については、税務署などにお問い合わせください。

その日のために、このさい国債。

将来への資金に、結婚資金に、教育資金に、住宅資金に、退職後の資金に

安心、しかもお手軽。個人向け国債

JAPANESE GOVERNMENT BONDS

国債で備える、ライフイベントのいろいろ

詳しくは特設サイト! このさい国債 検索

個人向け国債お知らせメール
 個人向け国債に関する情報を電子メールにて配信するサービスです。登録方法などは財務省ホームページをご覧ください。

